

すこやかネットだより

平成30年(2018年)3月
【第31号】
第九中学校区地域教育協議会
事務局 豊中市立第九中学校
TEL:06-6831-0751

*すこやかネットは中学校区を単位とした「学校」「家庭」「地域」のネットワーク。

第16回クリーンアップ大作戦 2017.11.11

暑がった！
九中校区

街をきれいに！！

校区クリーンアップ大作戦

参加者：約1100名！！



【クリーンアップポスター！】

第16回「クリーンアップ大作戦」。作戦の開催を告げたのは、デザインを刷新したポスターです。今年は天気心配されましたが、天は九中校区の味方をしてくれました。クリーンアップ大作戦当日は、朝から絶好の秋晴れとなりました。

いつものように宣伝車より♪朝早くから失礼します。本日はクリーンアップ大作戦の日です。・・・校区内の小中学生、地域の方々に清掃活動を10時からおこないます♪と放送させていただくと、1100名以上の方々が参加して、今年もクリーンアップ大作戦をスタートさせました。

新田 西丘 南丘 新田南 校区はひとつ

～新田小学校区編～

校区内を7コースに分けて、清掃活動をしました。小学校低学年から中学生、大人と幅広い年代が、参加しました。「あっ、こんな所にも、ごみがある。」と言って、溝の中や、道端に捨ててあるごみを熱心に拾い集める様子が見られました。特に、大きな公園付近には、ゴミが多かったようです。小学校に戻って来た時には、ごみ袋がいっぱいになっている子もいました。活動の後には、PTA 新和会のみなさんが作ってくださった豚汁をいただきました。冷たく冷えた体も心もポカポカになり、「おいしいね。」と、笑顔で食べていました。

今回の活動では、ごみを拾うだけでなく、地域を歩くことで、地域のことをより知る良いきっかけにもなりました。

～感想～

「地域との関わりが持ててよい」「川の掃除もしたい」「豚汁が楽しみ」「やりがいがある



った」「たばこの吸い殻や犬のフンが多い」「大人のごみが多い」「日常のごみを減らすことを意識してもらうために美化の看板を公園に設置したい」という声があがりました。今後も継続してやっていきたいですね。

～新田南小学校区編～

雨模様の天候のため、清掃箇所を大幅に変更することになりましたが、多くの方に参加してもらうことができました。主に学校周辺の清掃となりましたが、子どもたちからは「きれいにすると気持ちいい」「楽しかった」という声や清掃後の豚汁の「豚汁おいしかった、もっと食べたい!」という声が聞け、関わったスタッフ一同大感激でした。自分たちの校区をきれいにすることで、より一層地域への愛着が深まったようです。



～西丘小学校区編～

当日は朝早くから社協さんが「蒸し芋」の準備を始めてくださいました。9時半を過ぎると西丘小学校の運動場に、小学生、教職員、PTAのお母さん、父親会をはじめとする保護者の方々そして、男ボラさんと豊寿荘さん、九中生や地域の方々もぞくぞくと運動場に集まってこられ、総勢 400 名近い人数になりました。PTA会長馬場さんから話があり、その後5コースに分かれてゴミ拾いに出かけました。普段から男ボラさんを中心に美しく清掃されている西丘校区ですが、ゆっくりと歩いてみると、タバコやペットボトルのポイ捨てや台風で飛ばされた木の枝や大型のごみなど 20 袋分のごみを集めることができました。町をきれいにした後は、美味しい蒸し芋とお茶をいただき、心もお腹もいっぱいになりました。



～アンケートより～

「ごみを拾うことは地域だけでなく、自分の心を清めることになると思います。」「町をきれいにするのは自分達なんだと改めて思いました。」「意外とごみが少なく、日ごろから掃除をいただいている方がおられるので改めて感謝の気持ちでいっぱいです。」

～南丘小学校区編～

150 名程の小学生、中学生、高校生、大人が集まり、3つの班に別れて清掃活動を行いました。本校では今年度から校区変更がありましたので、南町 3 丁目方面にも清掃範囲を広げました。千里青雲高校からもたくさんの生徒が参加してくれました。中学生、高校生が大人や小学生と一緒に頑張ってゴミを拾う姿はとてもすてきな光景でした。参加者は黙々とゴミを集め、学校へ持ち帰り分別した後は、南丘小の芝生の手入れも行いました。閉会式の後恒例の豚汁がふるまわれました。中には何杯もおかわりをする児童や生徒もあり、おいしい豚汁のおかげでとても幸せなひと時を過ごすことができました。



家庭教育講演会

～ やる気をひきだそう ～



九中校区保護司会・健全育成会・地域教育協議会主催の「家庭教育講演会」を11月29日に九中体育館でおこないました。「家庭教育講演会」は社会を明るくする運動の一環として毎年九中体育館でおこなわれています。今年は、しつもん財団笑顔コーディネータの清川香織さんにお越しいただき「子どもとつながる魔法のしつもん ～やる気をひきだそう～」をテーマに、講演していただきました。

愛とエネルギーをそそぐ

10時前会場は満員御礼。用意した約300の緑の椅子が埋まる。肌寒い。だが今日のお話は「やる気」でした。やる気を引き出してポカポカになろうと、講師の清川さんがマイクを握られました。

「この会場に青色のものがありませんか？いくつあるか探して見てください。」参加者は誰もがキョロキョロ。社会を明るくするのポスターが青だったな。青のダウンを着られた方もおられる。入り口で配られた防犯イルミのちらしが青だったよな・・・。

「目をつぶってください。目をあけちゃダメですよ。では、この会場に緑はいくつあったでしょう？」えっ緑か？はっ？会場の空気は？？？に。“青っていうたやん？”という疑問がひろがって行く中、残像を呼びおこす。おとなりの人のネクタイが緑だけ？他には・・・。

「目をあけてください。緑をいくつ探せましたか？・・・よく見てください、椅子の座面が緑です。つまり300はありますね。」誰もが清川さんのペースにはまり話に引き込まれていきました。

質問されたら脳は動き出す

講演は聴くだけでなくペアで二人の共通点を見つけたり、四人組をつくり最近上手くいってることを述べあったりしながら進む（上写真）。質問されたら脳は動き出す。「夜眠れる」「ごはんが美味しい」などあちこちで会話が弾み、ぱちぱち。拍手をされると嬉しくなります。隣人との距離を縮めながら、意見交流を通して子育てにおける手だて・方法などを学び、講演が進むにつれ参加者の活動も活発になっていきました。何かをするときに「ゴールを決める」「愛とエネルギーをそそぐ」ことが重要であると清川さん。参加者は”家庭でも、愛とエネルギーを注ぐぞ”と気持ちを新たにされていました。脳が”やる気”で満腹となった家庭教育講演会はポカポカに包まれました。



